

北陸新幹線金沢開業に向けて！

首都圏在住の石川県出身の皆様には、ふるさと応援団として、日頃から北陸新幹線金沢開業に向けたご支援をいただき、深くお礼を申し上げます。

北陸新幹線は、昭和48年に国の整備計画が決定されて以来、東京・大阪間の全線整備を目指して建設が進められており、平成26年度末の金沢開業までよいよあと1年半となりました。現在、高架橋の建設工事は完了し、レールの敷設工事や電気工事等が行われています。

金沢開業により、東京・金沢間は、上越新幹線とはくたかを乗り継ぐ現行の約3時間50分から、乗り換えなしの約2時間30分で結ばれることとなります。金沢開業は、本県が大きく飛躍するための起爆剤となるものであり、その効果を最大限に引き出し、奥能登地域をはじめとして、県内全域に波及させていくために全力を挙げて取り組んでいます。

北陸新幹線に投入される新型車両のデザインコンセプトは、日本の伝統文化と未来をつなぐという意味を込めて「和の未来」とされており、車両の外観や内装には、加賀象嵌や漆、金箔など本県の伝統的工芸品をイメージさせるデザインが採用され、百万石の重厚な伝統文化

石川県交通政策課長 内田 滋一

を持つ石川県のイメージに合致するものとなっています。

また、今年の5月から6月にかけて募集された北陸新幹線の列車名は、この秋にも発表されることとであり、金沢開業に向けて、ますます機運が高まっていくものと思います。金沢開業は、石川県にとって100年に1度あるかないかのビッグチャンスとも言われており、大きな希望の星です。金沢開業の「その日」が訪れることを心待ちにしながら、しっかりと準備を進めていきたいと考えています。



「東京奥能登応援団のホームページ」アドレスは <http://okunoto.net> です。

いらむ

アイデンティティ ②①

神事と祭事に燃えるアイデンティ

〜『切り燈籠(キリコ)』その2

この年の七月、宇出津の「あばれ祭り」を皮切りに笛や太鼓にカネの囃子でキリコ祭りは能登を染めた。キリコの出で立ちの姿は唯一無二の特色を競うように、高さ十六メートル、重さ二トン、一基担ぎ手百人以上、高価な漆塗りの化粧、表の墨(白)文字・裏の武者絵(図案)の荘厳さ、ほんぼり・提灯・布などの装飾等々にそれぞれの独自の志向が凝らされている。

私の育った在所では、子どもの手で七夕盆にお宮の竹藪から四本の青竹を選び柱として子どもキリコを作った。太鼓たたき・カネつきの二人を乗せて練り歩ける安全第一の規模のものである。キリコ構造の屋根の部分から足の安定まで子どもながらに伝えられた技を駆使して前年を上回る装飾を工夫したのである。上記の既製品のキリコだけでなく、一回勝負の手作りもかつて存在感があった。

村祭りには神輿が一軒一軒を回る。キリコは神輿に御供し足元を照らす役割があると聞かされた。賑わい神は笛の音や太鼓の響きが好きだということで神意に叶うべく竹の横笛を吹き太鼓の袍捌きに興じたものである。

八月七日の見附海岸の「宝立七タキリ」祭り」は、沖に置かれた浮松明に火が灯り闇夜を照らす時、それを目指して数基のキリコが海に担ぎ込まれ火の粉散る周りを激しく乱舞する。夜の海に描かれた幻想的な光景は奥能登に宿る神性・聖性の象徴を感じ取るのである。同行した友人が「渡来神や漂着神を受け入れる包容の帆かけ舟に思える。」と。確かに半島ゆえに神仏を受け入れその文化が今日に息づいて年に一度魂の奥底を揺さぶるのであろうか。

(押上武文〈府中市・宝立町出身〉)



第41回日本橋・京橋まつり 大江戸活粋パレードに、大人キリコ2基が出陣いたします。
 10月27日(日)正午、三越前を出発し、中央通り約2kmをパレード、午後1時30分解散地の京橋に到着します。
 (右表⑤参照)

ふるさと行事のご案内

皆様。御都合に合わせ、どうぞ気軽にお立ち寄りください。お待ちしております！

No	日時	場所	行事
①	10月20日(日) 14時0分～	浅草ビューホテル	東京珠洲会
②	10月21日(月) ～11月4日(月)	いしかわマルシェ (物産展)	JR東京駅構内 エキウト東京
③	10月23日(水) ～同29日(火)	三越日本橋本館	世界農業遺産 能登の里山里海フェア
④	10月25日(金) 18時30分～	ホテル椿山荘東京 プラザ5階オリオン	第6回いしかわ県人祭 in 東京
⑤	10月27日(日)	中央区日本橋・京橋	日本橋・京橋まつり～北 陸新幹線開業PR
⑥	11月8日(金)～ 11月10日(日)	旅フェア日本 2013	池袋サンシャインシテ ィ文化会館
⑦	11月16日(土) ～同17日(日)	OTAふれあいフェ スタ	平和島競艇場
⑧	11月16日(土) ～11月19日	石川県・香川県フェア	埼玉県越谷市 イオンレイクタウン

編集後記

十月に入り、暑い夏がようやく終わったかと思いきや、関東では季節外れの真夏日が舞い戻って人々を驚かせました。
 さて、いよいよ二〇一五年春に開業を控えた北陸新幹線の列車名が決まりました。東京～金沢を二時間半で結び、速達型は「かがやき」、多くの駅に止まる停車型が「はくたか」、金沢～富山間を往復するシャトル型は「つるぎ」と名付けられました。
 北陸新幹線との里山海道、能登空港を結び、ループで石川県観光の利便性が飛躍的に向上します。ふるさと能登の「お・も・て・な・し」をより多くの皆様に堪能していただきたいものです。



横浜ゆるキャラフェスティバルの一コマ

去る九月二十八日から翌二十九日にかけて横浜赤レンガ倉庫前で「ゆるキャラフェスティバル」が開催され、二日間で十一万六千人もの入場者が訪れました。
 石川県から駆け付けたゆるキャラたちが、いしかわの観光・物産の紹介とともに、北陸新幹線の開業をPRしました。
 ※ゆるキャラの愛称
 写真向って右が能登の名勝「見附島」などをイメージした「みつけたろっくん」。左は能登の新鮮な素材で調理された「能登丼」をアピールする「のとんくん」です。よろしくね。